

「履歴書」及び「教育研究業績書」の作成要領

神戸女子短期大学

1 「履歴書」(様式1)

それぞれの欄に、以下のとおり記入してください。

- ① 「学歴」
 - ・ 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合は、それらの学歴(授与された学位及び称号を含む。)を全て記入し、それらの学歴を有していない場合は、最終学歴を記入すること。
 - ・ 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記すること。
- ② 「職歴」
 - ・ 全ての職歴(自営業、主婦、無職等を含む。)を記入するとともに、職名、地位等についても明記すること。
 - ・ 各職歴については在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入すること。
 - ・ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入すること。
 - ・ 過去における教員組織審査(課程認定特別委員会・課程認定委員会における教員審査を含む。)において教員の資格があると認められた場合は、同欄に当該認定に係る審査年、大学名、職名及び担当授業科目の名称(大学院にあつては、判定結果を含む。)を記入すること。
- ③ 「学会及び社会における活動等」
 - ・ 「現在所属している学会」欄には、提出時において所属する学会の名称を記入すること。
 - ・ 学会及び社会における活動のうち、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入すること。
 - ・ 教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入すること。
- ④ 「資格等」
 - ・ 本人の専攻、研究分野等に関連した資格等について記入すること。
- ⑤ 「賞罰」
 - ・ 学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入すること。

2 「教育研究業績書」(様式2)

この書類は、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び研究業績等に関する事項等(発行又は発表が予定されているものを含む。)について作成してください。

- ① 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」
 - ・ 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入すること。
 - ・ 「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入すること。
 - ・ 分科レベルに該当がない場合は、適宜記入すること。
- ② 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」
 - ・ 「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を、以下の例を参考に、過去から現在まで簡潔に記入すること。

<「教育上の能力に関する事項」の例>

ア 教育方法の実践例

- 大学・短期大学・大学院など高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入。
(具体例) ICT等を活用した授業方法
学生の授業外における学習効果促進のための取り組み
授業内容のweb上での公開 等

イ 作成した教科書・教材

- 学生の理解を図るために作成し、また、授業や研修指導等において活用している教科書や教材を記入。(後の「研究業績等に関する事項」との重複も可。その場合「(再掲)」と表記すること。)

ウ 教育上の能力に対する大学等の評価

- 学生の理解を図るために行っている教育上の取り組みに対して、大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入。

(具体例) 採用決定の際などにおける評価内容
各大学における自己点検・自己評価での評価結果
学生による授業評価結果、教員相互による評価結果

エ 実務の経験を有する者についての特記事項

- 外部と連携することによって成果を上げた教育に関する取り組みを記入。

(具体例) 大学から受入れた実習生等に対する指導
訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的実務に関する教育・研修
大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演 等

オ その他

- 学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上記に該当しないものを記入。

(具体例) 大学教育改善に関する団体等での活動の概要
教育実績に対する表彰
国家試験問題の作成 等

<「職務上の実績に関する事項」の例>

ア 特許等

- 特許、実用新案等で担当予定科目に関連するもの

イ 実務の経験を有する者についての特記事項

- 大学との共同研究
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員
- 行政機関における調査官等
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 芸術・体育関係者の場合は作品・発表の概要、社会的活動

ウ その他

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績等

- ・ 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入すること。
- ・ 「概要」の項には、当該事項に係る概要のほか、当該活動における地位や役割、成果など具体的な内容がわかるように200字程度で記入すること。

③ 「研究業績等に関する事項」

- ・ 「著書、学術論文等の名称」の項には、以下の点に留意の上、「(著書)」、「(学術論文)」、「(学会発表、講演等)」及び「(その他)」のそれぞれについて区分ごとに、発表年月の新しいものから順に通し番号を付して記入すること。

ア 「(著書)」については、書名を記入すること。

イ 「(学術論文)」については、国際学会誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入すること。学位論文については、その旨を明記すること。また、作品・演奏・競技等についてはこの項目に記入すること。

ウ 「(学会発表、講演等)」については、担当授業科目に関連する学会発表、講演等において、活字として発表された研究業績を記入すること。

エ 「(その他)」については、担当授業科目に関連する総説、学会抄録、依頼原稿、報告発表など記事のタイトルを、報告発表、討論会等にあつてはそのテーマを記入すること。

- ・ 「単著・共著の別」の項には、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入すること。

- ・ 「概要」の項には、著書、学術論文等の概要について、それぞれの事項ごとに200字程度記入すること。その際、教職科目担当教員にあつては、過去10年以内のものについて担当する全ての教職科目に関連する内容を明記すること。また、共著の場合には、本人の担当部分の概要及び掲載頁(pp.○-○)を記入し、本人の氏名を含め、著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入した上で、本人の氏名に下線を引くこと。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記すること。

<記入例①>
(様式2)

| 教育研究業績書 | | |
|--|---------------|--|
| | | 平成 年 月 日 |
| | | 氏名 ㊟ |
| 研究分野 | 研究内容のキーワード | |
| | | |
| 教育上の能力に関する事項 | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 教育方法の実践例 | | |
| 2 作成した教科書・教材 (1) 『〇〇〇〇』の第〇部 第〇章「〇〇〇〇」 (〇〇社、pp.〇-〇) | 1997年〇月 | 「〇〇〇〇」の教材として、…立場から考察を行い、…を明らかにした。…上の具体的指導項目と指導課題を明らかにした。 |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 | | |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 (1) 〇〇の実習指導 | 〇年〇月 ～〇年〇月 | 〇〇大学において、…の実習指導を行った。 |
| 5 その他 | | |
| 職務上の実績に関する事項 | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 特許等 | | |
| 2 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 3 その他 | | |

<記入例②>
(様式2)

| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 | | | | |
|---|------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 著書, 学術論文等の名称 | 単著・ 共著の別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
| (著書) 1 ○○○○○○ 2 ○○○○○○) 6 ○○○○) (再掲) | 共著 単著 共著 | 2012年○月 2011年○月 1997年○月 | ○○研究所 ○○図書 ○○社 | 第○章「○○」(pp.○-○)を担当。 …のポイントを示した。とくに…を述べた。 (全頁数○頁。編者:○○○○、共著者:○○○ ○、○○○○、 <u>本人氏名</u> 、○○○○、○○ ○、…、○○○○) …を明確化した。…を具体的に示した。 (全頁数○頁) 『○○○○』の第○部 第○章「○○ ○」(pp.○-○)を担当 「○○○○」の教材として、…立場から 考察を行い、…を明らかにした。…上の具 体的指導項目と指導課題を明らかにした。 (全頁数○頁。編者:○○○○、共著者: ○○○○、○○○○、 <u>本人氏名</u> 、…、○○ ○○) |
| (学術論文) 1 ○○○○○○ 2 ○○○○○○ (査読付) 3 ○○○○○○) (修士論文) | 単著 共著 単著 | ○年○月 ○年○月 ○年○月 | ○○研究会 『○○○○』vol.○,№ ○ (pp.○-○) ○○研究集録第○号 (pp.○-○) ○○大学○○研究科 | …について考察した。とりわけ…を明らか にした。 単元「○○」(○頁)を担当。 …の立場から…を分析した。結果、…し ていること等を明らかにした。 (共著者:○○○○、 <u>本人氏名</u> 、○○○○) 本研究は、…の解明を行った。…につい て考察した。 |
| (学会発表、講演等) 1 ○○○○○○) | 共著 | ○年○月 | 第○回日本○○学会 ○○大会 (○○大学) | 全編の編集を担当。 …を分析した。…の過程を提示した。 (全頁数○頁。共著者: <u>本人氏名</u> 、○○○○、 ○○○○) |
| (その他) (翻訳) 1 ○○○○○○) (学会発表) 1 ○○○○○○ 2 ○○○○○○) | 共訳 単独 共同 | ○年○月 ○年○月 ○年○月 | ○○社 第○回日本○○学会 ○○大会 (○○大学) ○○学会 第○回大会 ○○大会 (○○大学) | 第○編 第○章「○○」(pp.○-○)を担当。 …をまとめた。 (全頁数○頁。共訳者:○○○○、○○○○、 <u>本人氏名</u> 、○○○○、○○○○、…、○○ ○○) 本研究では、…を分析した。…を提示した。 本報告では、…を検討した。結果、…ことが示 唆された。 (共同発表者: <u>本人氏名</u> 、○○○○、○○○○) |